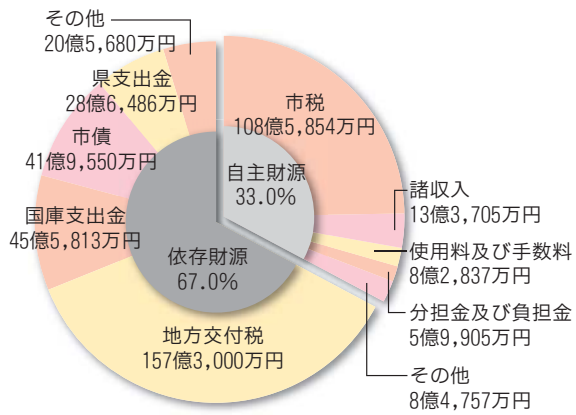


平成26年度一般会計予算 438億7,587万円

歳入



◆用語解説

自主財源…市に納められる税金や施設の使用料、住民票の交付手数料など
依存財源…市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県補助金、市債など
地方交付税…全ての市町村が一定水準の行政サービスを確保できるように、国税(所得税、酒税など)から配分されるお金
国庫支出金・県支出金…特定の事業の財源の一部として、国・県から支出されるお金
市債…公共施設の整備などのために、長期に借り入れるお金

◆歳入予算額内訳

		(単位：万円)		
項 目		予算額	構成比	増減率
自主財源	市税	108億5,854	24.8%	2.4%
	市民税	43億 640	9.8%	5.6%
	固定資産税	54億8,069	12.5%	0.6%
	軽自動車税	2億5,338	0.6%	1.3%
	市たばこ税	7億 171	1.6%	0.2%
	その他	1億1,636	0.3%	△5.1%
	諸収入	13億3,705	3.0%	7.7%
	使用料及び手数料	8億2,837	1.9%	1.3%
	分担金及び負担金	5億9,905	1.4%	△7.3%
	その他	8億4,757	1.9%	0.4%
依存財源	地方交付税	157億3,000	35.9%	△1.0%
	国庫支出金	45億5,813	10.4%	0.4%
	市債	41億9,550	9.6%	20.0%
	県支出金	28億6,486	6.5%	△8.4%
	地方消費税交付金	10億4,510	2.4%	10.2%
	地方譲与税	8億1,880	1.9%	△3.7%
	自動車取得税交付金	9,750	0.2%	△43.3%
	地方特例交付金	3,270	0.1%	△41.6%
	交通安全対策特別交付金	1,480	0.0%	△14.0%
	ゴルフ場利用税交付金	1,480	0.0%	△11.4%
その他	利子割交付金	1,710	0.0%	5.6%
	配当割交付金	1,350	0.0%	66.7%
	株式等譲渡所得割交付金	250	0.0%	66.7%
	小計	294億 529	67.0%	0.9%
	合計	438億7,587	100.0%	3.0%

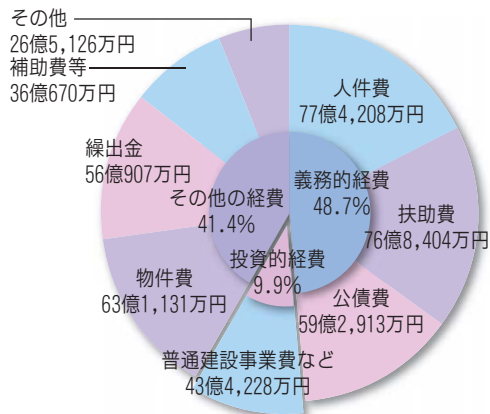
歳出

◆歳出予算額内訳 (※性質別歳出)

		(単位：万円)		
項 目		予算額	構成比	増減率
義務的経費	人件費	77億4,208	17.7%	△2.1%
	扶助費	76億8,404	17.5%	3.2%
	公債費	59億2,913	13.5%	△2.9%
	元金	52億8,179	12.0%	△1.6%
	利子	6億4,734	1.5%	△12.1%
小計		213億5,525	48.7%	△0.5%
投資的経費	普通建設事業費	43億4,028	9.9%	15.7%
	災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
	小計	43億4,228	9.9%	15.7%
その他の経費	物件費	63億1,131	14.4%	3.3%
	繰出金	56億 907	12.8%	3.6%
	補助費等	36億 670	8.2%	7.4%
	投資及び出資貸付金	11億6,806	2.6%	△2.0%
	維持補修費	10億 563	2.3%	15.1%
	積立金	4億3,757	1.0%	4.5%
	予備費	4,000	0.1%	0.0%
	小計	181億7,834	41.4%	4.5%
合計		438億7,587	100.0%	3.0%

※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。



◆用語解説

義務的経費…人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費
投資的経費…道路や学校など、将来に残るものに対する経費
その他の経費…施設の光熱費や事務組合・各種公益団体に対する補助金などの経費

市の予算体系

市の予算は福祉・教育・道路整備など、わたしたちの生活に深くかかわる事業を行うための「一般会計」と国民健康保険事業や下水道事業など、保険料や使用料などで特定の事業を行う「特別会計」の二つで構成されています。

健全な財政運営を推進

本市は、平成18年の合併により、一定期間は地方交付税の算定が有利になる国の財政支援を受けています

3月市議会定例会で、平成26年度当初予算が審議・可決されました。予算は、1年の市政運営を具体的に数字で示した「まちづくりの計画書」です。皆さんの生活に密着した行政サービスの提供を維持しながら、限られた財源をどのように配分したのか、そのあらましをお知らせします。

平成26年度当初予算のあらまし

の増となつています。予算総額が前年を上回るのは3年振りです。

歳入と歳出

■歳入について

自主財源の柱である市税は、個人市民税の大きなウエイトを占める給与所得の状況などを踏まえ、前年度比2・4割増を見込んでいます。また、市債は消防救急デジタル無線整備などの普通建設事業費の増加に伴い前年度比で20割の増となりました。

■歳出について

国体関連施設の整備をはじめ、既に進行中の大型ハード事業は継続して行つていきます。また、大きく転換する国の農業・農村政策へ対応するため、新たに市単独のソフト事業を構築し、農業を積極的に支援していきます(本年度の主要事業については、8、9ページに掲載)。

※文中の用語「自主財源」「市債」については、左ページで解説しています

■平成26年度各会計予算の総括表

		(単位：万円、%)						
区 分		26年度 予算額	25年度 予算額	増減額	増減率	26年度末 市債残高 見込み	25年度末 市債残高 見込み	増減額
一 般 会 計		438億7,587	426億1,030	12億6,557	3.0	544億 123	550億9,301	△6億9,178
特 別 会 計	国民健康保険	102億3,851	100億3,697	2億 154	2.0	—	—	—
	後期高齢者医療	18億8,351	17億8,652	9,699	5.4	—	—	—
	介護保険	96億1,641	90億3,109	5億8,532	6.5	—	—	—
	老人保健施設事業 ※1	—	3億1,720	△3億1,720	皆減	—	3億9,451	△3億9,451
	公設地方卸売市場事業	6,209	5,679	530	9.3	1億3,799	1億6,332	△2,533
	下水道事業	39億3,743	38億3,684	1億 59	2.6	312億5,140	315億9,446	△3億4,306
	農業集落排水等汚水処理事業	16億2,712	14億2,829	1億9,883	13.9	142億7,304	145億2,387	△2億5,083
企業会計(下水道事業) ※2		—	39億1,493	△39億1,493	皆減	—	103億 66	△103億 66
合 計		712億4,094	730億1,893	△17億7,799	△2.4	1,000億6,366	1,120億6,983	△120億 617

※1 老人保健施設事業特別会計は、華の苑で行っている介護サービス事業が、本年度から利用料金制の指定管理者制度へ移行するため廃止になりました
※2 下水道事業会計は花巻市、北上市、紫波町の2市1町と岩手中部広域水道企業団の水道事業が統合し「岩手中部水道企業団」が本年度からスタートしたため廃止になりました